

# 株式会社 藤里開発公社の経営状況について

株式会社藤里開発公社の経営状況について、6月議会定例会で報告したので公表いたします。  
令和4年度藤里開発公社部門別損益計算書 (R4. 4~R5. 3) (単位：千円)

科 目	ホ テ ル	健康保養館	加工センター	白神山水 生産販売	本 部	合 計
売 上	72,933	26,608	27,311	95,944	0	222,796
加 工 手 数 料	0	0	6,913	0	0	6,913
指 定 管 理 料	0	40,160	5,636	15,167	0	60,963
売 上 計	72,933	66,768	39,860	111,111	0	290,672
期 首 在 庫	992	352	3,108	6,248	0	10,700
当 期 仕 入	19,072	4,188	13,195	29,230	0	65,685
期 末 在 庫	640	384	3,855	5,487	0	10,366
売 上 原 価	19,424	4,156	12,448	29,991	0	66,019
売 上 総 利 益	53,509	62,612	27,412	81,120	0	224,653
一 般 管 理 費	64,873	67,045	25,471	63,194	7,250	227,833
営 業 利 益	△11,364	△4,433	1,941	17,926	△7,250	△3,180
営 業 外 収 入	118	630	0	967	1,252	2,967
営 業 外 費 用	0	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	△11,246	△3,803	1,941	18,893	△5,998	△213

※6月議会定例会で報告した資料を編集して作成しています。  
※事業の収支状況を示すため、償却、補助対象を除いています。

## ●ホテル（売上高72,933千円、前年度比104.9%、3,406千円増）

新型コロナウイルス感染症拡大が続く中でありましたが、各種宿泊キャンペーンの実施による効果で、県内の宿泊客や日帰りプランの利用客などの獲得が売上げの増となりました。また、料理を月ごとに新しい献立に設定したことなどが高評価となりリピーターに繋がる結果となりました。各種団体等の総会や祭典の自粛が続いておりましたが、3月期に入り学校関連の団体利用もあり回復の兆しが見えてきました。

## ●健康保養館（売上高26,608千円、前年度比93.7%、1,785千円減）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外出自粛により、ゴールデンウィーク、登山シーズン、お盆や年末年始など、観光客や帰省客の利用が低調でした。3月期に入りホテルからの利用者が増加となりました。一般管理費では、原油価格の高騰により、灯油、電気料などの光熱費が大幅に伸びたこと、さらには機械関係の修繕により経費が増えております。

## ●加工センター（売上高34,224千円、前年度比104.4%、1,445千円増）

新型コロナウイルス感染に関する規制緩和による消費回復がみられるようになったことやラム肉の売上げが回復してきたことが売上げの増となりました。増益にはなりましたが、仕入れ原料と資材の値上がりにより売上原価が増となりました。

## ●白神山水生産販売（売上高95,944千円、前年度比129.6%、21,906千円増）

主要取引先によるペットボトルのリニューアル販売による安定した受注が売上げの増に繋がりました。増益にはなりましたが、資材の値上がりによる売上原価の増、電気料の高騰による一般管理費の増となりました。

## <指定管理料について>

開発公社の運営5部門のうち、健康保養館（共同福祉施設を含む）・加工センター・白神山水の館は町有施設であり、町は開発公社と指定管理協定を結び、管理運営を委託しています。健康保養館は、低料金で町民等の健康増進を図るもので、加工センター及び白神山水の館は、特産品開発や資源を活用した地場産業の振興を目的として運営されております。

これらの施設の維持管理には、保守料や維持修繕費、水道光熱費や管理のための人件費が掛かるため、町では、施設の健全な運営が図られるよう、維持管理に要する経費と人件費の一部について、一定のルールにより算出した指定管理料を支払っております。

(\*1) 指定管理料は施設を管理運営するための経費であり、年度当初に契約した協定に定める金額を基準として支払うものです。